



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年 4月28日

企業・団体名 富山県消費者協会

代表者名 会長 尾畑 納子

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	公正かつ持続可能な社会の実現のため、消費行動が環境に及ぼす影響を考慮する消費者の割合の増加を目指します。 【実施状況】 ・くらしのアドバイザーによる啓発講座「くらしの相談会」を、県内9市町において53回開催しました。(受講者1,160名) ・大学生による中高生のための消費者教育モデル事業を実施し、富山大学生が消費者問題を学ぶとともに、高校に出向いて、消費者被害防止やエシカル消費についての啓発講座を行いました。(大学生7名、受講生:中学生160名、高校生268名)
2	エシカル消費を推進し、マイバッグ持参の徹底や、県民一人1日当たりの食品ロス発生量の半減を目指します。 【実施状況】 ・企業参加型エシカル消費PR支援等事業により、イオン、アルビス、とやま生協、大和富山店で「とやまエシカルフェア」を開催し、認証マーク付きの商品や地産地消食品の陳列販売、アンケートによるクイズなどを実施し、県民や参加企業のエシカル消費に関する認知度の向上を図りました。 ・また、令和4年度富山県消費者大会の第2部で「エシカルセッション」を開催し、事業者と消費者が協働して資源循環型社会を目指すことについて、理解を深めました。
3	毎年、消費者問題に関するアンケート調査を実施し、調査結果を公表することにより、消費者意識の向上と、生産者、販売者、行政との公正な意思疎通を図ります。 【実施状況】 ・テーマ「環境に負荷をかけない生活様式のために～サステナブルファッションの実現に向けて～」で実施したアンケートの調査結果を公表(令和4年12月22日)するとともに、ホームページに掲載しました。(調査は令和4年6月下旬～7月下旬、回答者数1,839名) ・調査結果を踏まえて、消費生活研究グループ連絡協議会の第3回研修会(令和5年3月1日「サステナブルファッションの実現に向けて」)において、グループの活動発表の報告や、団体・企業の衣服に関するサステナブルな取組み紹介、意見交換などを行い、情報の共有を図りました。(参加者61名)